

第1号議案

一般社団法人ラシク045 令和5（2023）年度 事業報告書



代表理事 原 美紀

所在地 〒222-0034 神奈川県横浜市港北区岸根町 665 番地 13

HP <https://sites.google.com/view/rashiku045/>

FB <https://www.facebook.com/groups/663831370936797>

LINE 公式 @612sqdpv

目 次

1. 概要と成果
 - 1-1 活動の概要報告
 - 1-2 活動の成果
 - 1-3 今後への期待と課題

2. 活動の詳細に関する事項
 - 2-1 活動について
 - 2-1-1 100年時代 変わる未来のカタチに向けて
 - 2-1-2 つながりの再編・再生に向けて
 - 2-1-3 心と体が動く体感・体験に向けて

 - 2-2 委嘱・委員会などの活動
 - 2-3 情報発信・事務局業務について
 - 2-4 活動実績一覧
 - 2-5 役員・会員名簿

1. 概要と成果

1-1 活動の概要報告

法人創設以来オンラインでの活動を中心にしながらも、施設見学会の実施、対面での連続かつ100人規模のイベントの連続開催などそれぞれのメンバーが自団体、所属の活動がありながらネットワークとしての活動を行うことができた。イベントを通してつながりがひろがり、また次の活動への流れとなっていました。この一年の活動はラシク 045 としての成果のみならず、所属団体へ還元され、定款に掲げた【すべての世代を通じ「22 世紀のヨコハマはこうあってほしい!」ということを目指した活動が具体化し、【「自分自身が豊かになり、自分らしく生き続けられること市民として広がりを目指す】ことができました。

1-2 活動の成果

(1)行政、企業、地域団体などと連携・協働した複数事業の主催・共催を通して、開催の過程やふり返りの中から、今後の方向性、課題や大切な核など多くの実りが収穫・共有されました。

- ・異なるセクターの持ち味と、多分野で日々活動するメンバーのスキルやつながり・情報が掛け合わさる効果は大きく、各々の力なくしては実現できないこと、ネットワークの威力を改めて確認する機会となりました。
- ・地域貢献が社会的価値となる企業とのパイプは3年目を迎え、今後、多様な事業の展開や財源を確保していくうえでも重要な積み重ねとなりました。
- ・行政との協働事業(委託型)において、企画から事業実施、ふり返りまでの過程を経る中で関係が深まり、次年度へつながる1年になりました。

(2)国が「こどもまんなか社会」を掲げ大きく舵が切った令和5年度。並行して横浜市次期「横浜市子ども・子育て支援事業計画」策定に向けて、市民や現場の声を聴き、対話を深め今後の方向性を学び考える連続事業を開催しました。

- ・この変化・変革にアンテナを立て、機敏に柔軟に企画運営を行い、事業を通して、新たなネットワーク先との相互理解を深めることができました。
- ・開催を通して、メンバー・参加者共に、それぞれの現場やネットワークにエッセンスが伝わり、市民参画のすそ野が広がりました。
- ・マクロの視点から現在の国・市の施策やこれからの市民社会のあり方を読み解く、機をとらえた学びが得られる、貴重な機会になりました。

(3)多様で福祉的な活動やビジネスなどに取り組む、分野を超えたネットワーキンググループである、ラシク045の法人としての強みが活かされました。多様な機会から、数多くの学びや情報が共有され、市民力が育成されました。

市民力が豊かと言われる横浜市において、数多くの市民グループや個人がつながったネットワーク力は、本法人の強みとなり、多方面に広がっています。

分野を超えた市民ネットワークの法人という特性、各現場の幅広い意見を集約し発信できる力は、行政にとっても魅力的な社会資源となります。

令和5年度横浜市予算説明会&意見交換会の開催(主催)や各種横浜市審議委員会への委員としての参画、横浜市の新たな事業展開における意見交換会等に参画し、ネットワークの中で、テーマに沿って意見を交わし見識を深め、現場で関わる人達や当事者のニーズや声をまとめ、意見として提案しました。

また、行政・企業施策等とのパイプや見識を有されるキーパーソンとのつながりにより、議員立法案(横浜市子ども・子育て基本条例案)に関する議員との意見交換会など、多様な機会多くの学びにつながっています。

・各々の結果報告や参画したことで得られる実感や情報等が、定例会や組織 SNS コミュニケーションツール(スラック)を通して、メンバーに共有されました。また、ホームページ、SNS ツール、紙媒体などを駆使してメンバーがそれぞれ自律的に多方面に活動報告を行うことができたことで、多様な世代へ広く発信を続けました。

(4) オンライン定例会が定着、その対話の場から新たな機会や事業、つながりが生まれました

培われた対話の力

・日々見えている 180 度の視界を広げるために、自分でも気づいていない盲点やひらめきにつなげるために、定例会を中心に大切に対話を重ねてきました。

多様な会員のそれぞれの活動や得られた視座・見地・ふとしたつづやきを交換し、フランクに学びあう、全員で創り上げるこの時間の吸引力・魅力は大きく、法人の根っことなっています。

リアルな対面活動への移行

・スラック(SNS 連絡ツール)により、会員間での連絡や、全体に向けた様々なイベント開催等の情報提供、プロジェクトごとのチャンネル連絡などが交わされ、活用されてきました。

コロナ感染症が5類感染症となり With コロナの生活様式が定着した5月以降からは、会員が様々な機会に顔を合わせ、語り合ったという報告が増えました。オンライン定例タイムが実を結び、画面越しに話したメンバーと直接会って、互いを知り合う喜びは、深く大きなものでした。私たちの暮らしの上で“繋がり”の意義を深く実感する年度となりました。

有形無形の刺激を享受できる体験は、一人ひとりの原動力となり、より大きく広がり今後につながっていくことと思われまます。

1-3 今後への期待と課題

(1) 令和5年度は、“子どもまんなか社会”を掲げる、子ども家庭庁が創設された大きな変化の年となりました。

会員各々が異なった現場で仕事・活動に携わる中、マネジメント力を大切に培うことが求められます。

狭間の時間を有効活用し“ムリなく・おもしろく・できる人ができる時に”をモットーに、まだ見ぬ景色に驚きと感動をもってみんなで出会える、密度の濃い魅力あふれる企画を生みだし続ける法人でありたいと考えています。

(2) 対面で集まる機会と、オンラインタイムをバランスよく織り交ぜながら、

異なる視点やアイデア・考え方・つづやきを活かしあうネットワークの醍醐味を体感できる、誰もが参加しやすい、時間を工夫していきます。

(3) 課題解決型ではない法人運営が4年目を迎えます。

会員各々が自らの動機をもって主体的に動くことができる、様々なプロジェクトが立ち上がり、その収穫が全体として溶け合い次の何かが生まれていく運営の仕組みを模索し整えていきます。

(4) 会員各々が所属する一団体・法人では、実現が難しい提案を事業化し、そこから得られたエッセンスや学び、進める過程で磨かれるスキルが、分野を超えた人材やネットワークに波及し各々が変容していくといった、一連の流れ・成果が、本法人の特性としてみえてきました。

報告や収穫したもののアウトプットにかかる時間をつくり、広報に力を入れた、組織体制が必要です。広く会員に呼びかけ協力を仰ぎます。

また、事業や広報を通じて、他団体や法人に共催・協力を呼びかけ、その協業を通じて互いの力量が増幅され、広がることを目指します。

5、法人事業を支える事務局業務の効率化に向けて、これまでプロボノ事業に申請、会員管理システムの導入を行ってきました。

次年度は会計管理ソフトを導入し、事務局体制を整える検討を重ねていきます。

2. 23年度の活動の詳細に関する事項

2-1 活動について

活動は4つの柱にそって以下に主な取り組み（主催イベント）を実施した。（事前打合わせ等は省略）

2-1-1 100年時代 変わる未来のカタチに向けて

有識者からデータを学び、未来を考える根拠をインプットする取組を行います

●予算説明会

- ・6.12 参加48名 オンライン公開イベント
- ・7.13 第1回こども子育て会議イベントに向けて勉強会
- ・7.20 第2回こども子育て会議イベントに向けて勉強会



●今こそ本音と本気で語ってみたい横浜子ども子育て未来会議フォーラム【キックオフミーティング】

- ・日時：2023年9月8日（日）19:00～
- ・場所：神奈川県民サポートセンター参加：約20名



【第1弾】南部フォーラム 活動分野を軸にした対話

- ・日時：2023年12月16日/会場：男女共同参画センターフォーラム
- ・参加：48名

第1部 「こども家庭庁」できてどうなる？どう変わっていく？

奥山千鶴子さん（NPO法人子育てひろば全国連絡協議会理事長）

第2部 横浜市の未来のカタチ 横浜市子ども青少年局企画調整課 宗川係長

第3部 活動分野・テーマ別の対話

・登壇者：

<青少年>石村 裕子さん 横浜市青少年育成センター

<不登校・ひきこもり>伊藤 奈美さん NPO法人パオパオの木

<ダブルケア>植木 美子さん NPO法人てととと陽だまり

<貧困・外国ルーツ>金子 真澄さん NPO法人まんま

<ひとり親> 齋藤みゆきさん 横浜市母子家庭等就業・自立支援センター

<外国ルーツ・障害> 坂本 寿子さん NPO法人夢・コミュニティ・ネットワーク

<男性育児・ジェンダー> 真鍋 考士さん NPO法人全日本育児普及協会

ファシリテーター 佐藤 洋子 一般社団法人ラシク045

応援メッセージ 伊吾田善行さ 横浜市市民協働推進センター



【第2弾】北部フォーラム 支援の対象年齢を軸にした対話

・日時：2024年1月20日（土）14：00開演/会場：國學院大學たまプラーザキャンパス/参加：67名

第1部 「こども家庭庁」できてどうなる？どう変わっていく？

奥山千鶴子（NPO法人子育てひろば全国連絡協議会理事長）

第2部 横浜市の未来のカタチ 横浜市こども青少年局企画調整課 対象年齢を軸にした対話

・登壇者：

<妊娠期/産前産後> 大槻 智子さん NPO法人びーのびーの

<乳幼児期> 押山 道代さん NPO法人英・さや

<学童期支援> 峯尾 真一さん NPO法人夢・とんぼ

<思春期支援> 小川 杏子さん NPO法人パノラマ

ファシリテーター 原 美紀 一般社団法人ラシク 045



【第3弾】市域フォーラム「私たちの日々の暮らし」と「こども施策」を直結して考える

・日時：2024年2月25日（日）14：00開演

・会場：横浜情報文化センター

・参加：200名

第1部 「みんなで話そう、つながろう！横浜での子育て」

横浜での子育てワイワイ会議 実行委員会 報告



第2部 パネルディスカッション

・登壇者：

横浜子ども子育て会議 子育て部会 部会長

堀 聡子さん

横浜子ども子育て会議 子育て部会 委員

八木澤恵奈さん

横浜子ども子育て会議 子育て部会 委員

金 明希さん

NPO法人アクションポート横浜

高城芳之さん

ファシリテーター

稲田 遼太さん



第3部（鼎談）

こども家庭庁 成育局長

藤原 朋子さん

横浜市こども青少年局局長

吉川直友さん

NPO法人子育てひろば全国連絡協議会

奥山千鶴子さん



2-1-2 つながりの再編・再生に向けて
ジェンダー平等に関するプロジェクトを実施した



事業目的

第5次横浜市男女共同参画行動計画の普及や性別役割分担意識等のジェンダー問題の理解促進を図るため、「ジェンダーすごろくワーク（ジェンダーを題材にしたすごろくを使ったワークショップ）」の担い手を育成し、担い手を通じてワークショップを地域展開し、市民のジェンダーに関する理解促進を図る。

実施内容

1. ワークショップの担い手向け研修の実施

対象

- ①地域子育て支援拠点・横浜市親と子のつどいの広場スタッフ
- ②区役所職員



2. ファシリテーターの育成を目指し、ジェンダーすごろくワークの意義の理解、すごろくワークの体験と共に、男女共同参画社会の実現に各現場が深く関わっていることへの覚知と、職員一人ひとりのジェンダーに関する理解促進を図る



3. 地域展開に向けて、各分野（防災研修、人権研修・地域子育て支援の現場・職員研修等）で活用するための独自のすごろくワークの開発に向けた案の作成、すごろく案に関する意見交換を通じた意識醸成を図る

①地域子育て支援拠点・横浜市親と子のつどいの広場スタッフ対象ワークショップチラシ

令和5年度 横浜市政策局男女共同参画推進課×ラシク045 協働企画
第5次横浜市男女共同参画行動計画を市民の皆さんと推進
ひろばで活かせる♪ 対話型ワークショップ

①1/11(木) ②2/9(金)

16:30~18:30
参加費無料

対話が弾む！ ジェンダー すごろくワーク

誰もが一度は遊んだことがある”すごろく”
対話のテーマを決めて、コマごとに問いかけを
自由に入れていけば♪対話ツールのできあがり♪
グループみんなでサイコロを振りながら
楽しく★おもしろく★
対話が進んでいきます
今回は、なんと！2時間で
学んで、作ってみる、
ヨクバリ企画です

地域親子サロン
支え手交流会
の様子♪

実施内容

(1)地域子育て支援拠点・親と子のつどいの広場スタッフ向け

■第1回

日時:令和6年 1月11日(水) 16:30~18:30

会場:神奈川区地域子育て支援拠点かなーちえ

参加者数:11人

講師:原島 隆行氏 NPO法人まち×学生plus事務局長

ファシリテーター:塚原 泉氏 一般社団法人ラシク045

実施内容:ジェンダーすごろくワーク体験&すごろくワーク作成のポイント



■ 地域子育て支援拠点&親と子のつどいの広場スタッフ対象



1回目15人



2回目28人



設問に皆で
答えながら
余白に自由
に書き込ん
でいく



対話が
見える化
されていく



■ 区役所職員対象



成果・今後の展望

(1)地域子育て支援拠点・親と子のつどいの広場スタッフ向け

目的・概要

- ・性別による役割分担意識やアンコンシャスバイアス等のジェンダー問題の理解促進を図るため、ジェンダーをテーマとしたすごろくワーク体験&作成講座を開催し、各区においてその担い手を育成する

評価軸

- ・多種多様な場面で参加者主体で活用できるツールになりえるかどうか・プログラム骨子の構築
- ・ワーク体験と作製ポイントをセットに組んだことで、ジェンダーすごろくを基に、多様な場面での展開につなげたいとの声が多く寄せられた。参加者主体となる動機を呼び起こすプログラムとなっていた
- ・開発したジェンダーすごろくワークの試行と検証を重ね改訂しつつ、展開できる人材の育成につながっているか
- ・子育て支援の現場に関わる職員は、体験を通してツールを使い意欲的に実践を試みたいとしている
- ・ジェンダーすごろくワークでは、「ジェンダー平等とは何か」を伝える時間の工夫を加え（二次元コードをマス目に入れスマホでミニ学びタイムとするなど）改訂につなげたい
- ・ワークに参加したそれぞれへの気づきや意識、行動への変容に影響を与えるプログラムか
- ・子育て支援の現場に関わる職員は、自身の学びやジェンダー意識を高めることが、日々接している子育て世代や子どもの行動変容に結びつくことを体感している。ワークを通して改めて学び、自己覚知につながっていた

今後の展望

- ・18区対象に開催を続けていく。今年度参加した事業所に具体的な展開のアンケートを行い、多様な実践事例を集める
- ・ジェンダーすごろくワークの改定を行い、パッケージとし子育て支援現場における展開を広げる

成果・今後の展望

(2)区職員向け

目的

ジェンダー問題は、行政が担う多様な分野の業務や社会課題と密接に関係することから、区職員を担い手の対象とする。

区においては、区の自主事業でジェンダーすごろくワークを活用することを目指し、中区において独自にすごろくを開発するための意見交換や意識醸成につながるワークをモデル実施する。

評価軸

- ・多種多様な場面で職員主体で活用できるツールになりえるかどうか・プログラム骨子の構築
- ・ワーク体験と作成の2回講座を通して、ジェンダーすごろく体験を基に、多様な場面での展開につなげたいとの声が多く寄せられた。職員主体展開となる動機を呼び起こすプログラムとなっていた
- ・開発したジェンダーすごろくワークの試行と検証を重ね改訂しつつ、展開できる人材の育成につながっているか
- ・各課がそれぞれ、具体的な対話場面の想定があり、どの分野においてもジェンダー平等の視点が欠かせないことを改めて学ぶ機会となった。日々、区民と対面する職員にとって、実践に結びつける意欲につながっていた
- ・ワークに参加したそれぞれへの気づきや意識、行動への変容に影響を与えるプログラムか
- ・ジェンダーすごろくワークの汎用性・有効性が実感され、多様な場面での展開がイメージされた。

今後の展望

- ・中区での実践・すごろく作成例やその後の実践例をまとめ、18区へ展開できるよう働きかける
- ・「ジェンダー平等社会実現」の意義をワークを通して職員間で共有し、区民への啓発に向けて、展開する人材を広げる

2-1-3 心と体が動く体感・体験に向けて

次のアウトプットを生み出す刺激となる心と体にピンとくる体験的・体験的な取組を行います

(1) ラシクー日視察ツアー to 金沢区

・日時：2023年10月18日 参加：14名

・行程：新横浜駅⇒小柴自然公園⇒

さくら茶屋にししば⇒うみとそらのおうち⇒新横浜駅

・視察ポイント：【小柴自然公園】

横浜初のインクルーシブ遊具広場の経緯

環境創造局公園緑地整備課 内山係長よりレクチャーい

ただいた。

【さくら茶屋にししば】

団地活性化、多世代交流、ボランティア活動の現状と課題

を理事長からお話を伺った。

【うみとそらのおうち】こどもホスピスの現状と今後の展望



(2) YONAYONA プロジェクト

親子の現状課題やニーズを踏まえて、「地域の中でこんな風に過ごしたい」、「こんな社会になってほしい」と、障害福祉について主にオンラインによる対話の活動を実施。

横浜市福祉のまちづくり条例、小柴公園インクルーシブ化など、本市の政策検討において日常生活課題から検討し、市民意見提出などを行った。

5/6YONAYONA 番外編（緑区レモンの庭施設見学）

松岡、中畝、浅川、坂口、中島、石井（オンライン）、田之畑（オンライン）

ゲスト：小林（エリーズカフェ）

7/8YONAYONA in だろっぷ大倉山 7/8（土）原、佐藤、松村、坂口、田之畑、石井

(3) ファシリテーション勉強会（オンライン）

メンバーの興味・関心事からプロジェクトを起こしていいという本団体の理念のもと、「この指止まれ！」企画として2023年度に始動。月1回、オンラインで2分スピーチを通して、ファシリテーションの学びとメンバー間での交流実施。オンラインであっても感情をオープンにプロジェクトの方向性に対する想いを重ね合わせてきた。2024年度は新たなメンバーも加わりながら、オープンダイアローグの勉強会を秋頃に計画している

5/21	10:00	11:30	石井、植木、大槻、鈴木
6/24	10:00	11:00	浅川、石井、植木、大槻、鈴木、児山、根本
7/23	10:00	11:00	石井、植木、大槻、児山、鈴木
8/27	14:00	15:00	石井、植木、大槻、児山、鈴木、根本
9/24	9:00	10:00	石井、植木、大槻、児山、鈴木、根本
11/26	10:00	11:00	石井、植木、児山
12/30	10:00	11:00	石井、植木、大槻、児山、鈴木、根本
1/28	10:00	11:00	石井、児山、根本
2/18	10:00	11:00	浅川、石井、植木、大槻、児山、根本
3/16 対面 開催	14:00	17:00	オープンダイアローグ体験 in 陽だまりてとと 参加費 600円 講師：菊池真弓氏（社会福祉士・精神保健福祉士） 浅川、石井、植木、大槻、児山、鈴木、根本

2-1-4 その人のヒストリーからの収穫に向けて

定例会において、会員のそれぞれが、活動する背景、歴史を語り、自分を振り返りを行いながら、メンバーにプレゼンテーションを行う「ヒストリー」を語る時間をもった。このことは、会員それぞれ、団体として、次の収穫につなげる取り組みとなっている。

9/15 児山由紀子 11/17 篠江佳奈 12/15 高見知英 3/15 14名 宮崎真理子

2-2 委嘱・委員会などの活動

名前	委員会名	参加実績
横浜市福祉のまちづくり条例 推進委員会 (小委員会、専門委員会を含む)	田之畑有美	推進会議 7/10、2/14 専門委員会 12/20 小委員会(小学生向けリフレット作成/オンライン 19時~20時無償) 4/19、5/17、7/19、8/16、9/20、11/15、 12/20、1/16
横浜市こども子育て会議 保育・教育部会 委員/ 児童福祉審議会	天明美穂	【児童福祉審議会 保育部会】 6/5、7/14、8/4、9/4、11/1、12/11、3/27 【こども子育て会議】 6/5、7/14、8/4、9/4、11/1、3/27【児童福祉審議会 総会】 11/20 3/18 (オンライン)
横浜市こども子育て会議 子ども・子育て部会委員	金 明希	【こども子育て会議】 【子育て部会】7/4、10/17、3/22 【総会】 7/31、11/21
横浜市社会福祉協議会 福祉よこはま 編集委員会	佐藤洋子	6/22、9/21、12/21、3/19
横浜市男女共同参画審議会委員	塚原泉 ※NPO 法人親がめ	8/4、11/17
健康横浜 21 推進会議 食育推進検討部会	植木 美子	11/14、6/21

2-3 情報発信・事務局業務について

・外部、全体広報は公式 HP を中心に発信、SNS 運用を担当制として複数人体制で発信ができるようになった。会計業務の効率化に向けてクラウドシステム導入の検討を実施した。

・イベント運営において、協力団体、協賛団体など法人以外の協力者との連携もスムーズになり偏りのない運営体制、他団体との協業による情報発信、推進体制をつくることができた。

(國學院大學、横浜男女協力推進センター、横浜市民協働推進センター、NPO 法人アクションポート横浜、NPO 法人 まち×学生プロジェクト plus、第一生命保険株式会社等)

HP:<https://rashiku045.com>

会員管理ウェブシステム：<https://miitus.jp/t/rashiku045/>

FB：<https://www.facebook.com/groups/663831370936797>

ツイッター：[@rashiku045](https://twitter.com/rashiku045) LINE 公式：rashiku045

2-4 活動実績一覧

日付	公開有無	内容	実施形態/場所	参加人数
4/18	会員限定	こども子育て会議勉強会	オンライン	12
4/21	会員限定	定例会	オンライン	21
5/6	会員限定	YONAYONA 番外編	レモンの庭（緑区）	7
5/12		会計監査	かなーちえ	7
5/19	会員限定	定例会	オンライン	14
5/21	会員限定	第1回ファシリテーション勉強会	オンライン	4
6/12	公開	横浜市予算説明会	オンライン	46
6/16	会員限定	総会、定例会	かなーちえ&オンライン	32
6/24	会員限定	第2回ファシリテーション勉強会	オンライン	7
7/8	会員限定	YONAYONA in どろっぶ大倉山	どろっぶ大倉山	
7/13		こども子育て会議勉強会1回		10
7/20		こども子育て会議勉強会2回		10
7/21	運営	プロボノヒアリング	オンライン	5
7/21	会員限定	定例会	オンライン	14
7/23	会員限定	第3回ファシリテーション勉強会	オンライン	5
8/27	会員限定	第4回ファシリテーション勉強会	オンライン	6
9/5		こども子育て会議イベントキックオフ MTG 打ち合わせ	オンライン	6
9/8	公開	こども子育て会議イベントキックオフ MTG	かながわ県民サポート センター1501	44
9/15	会員限定	定例会	オンライン	15
9/24	会員限定	第5回ファシリテーション勉強会	オンライン	6
10/4	公開	こども子育て会議イベント勉強会1	オンライン	
10/6		こども子育て会議イベント勉強会2		
10/7		こども子育て会議イベント勉強会3	かなーちえ	6
10/18		金沢区見学ツアー		14
10/20	公開	こども子育て会議イベント勉強会4（定 例会なし）	横浜青少年育成協会第 2研修室	19
11/6		こども子育て会議イベント打ち合わせ	オンライン	
11/17	会員限定	定例会	オンライン	11
11/26	会員限定	第6回ファシリテーション勉強会	オンライン	3
12/15	会員限定	定例会	オンライン	10
12/16	公開	こども子育て会議イベント（南部）	男女共同参画センター 横浜フォーラム	48
12/30	会員限定	第7回ファシリテーション勉強会	オンライン	6
1/19	会員限定	定例会	オンライン	15
1/20	公開	こども子育て会議イベント（北部）	國學院大學たまプラー ザキャンパス	67
1/28	会員限定	第8回ファシリテーション勉強会	オンライン	3
2/3		こども子育て会議イベント登壇者打ち 合わせ	オンライン	6
2/16	会員限定	定例会	オンライン	
2/18	会員限定	第9回ファシリテーション勉強会	オンライン	
2/25	公開	こども子育て会議イベント（市域）	横浜情報文化センター	200